



中土佐町

No.44

平成29年2月25日発行

第5回臨時会
12月定例会



■町民から直接請求 2

■公共施設移転等事業予算増 6

■議員出張懇談会始まる 21

今回の主な内容

■ 第5回臨時会	2
■ 平成28年12月定例会	
議案審議	6
一般質問	8
委員会活動報告	16
行政報告	17
主な議案と議員の賛否	18
■ 議員の活動状況	20
■ 追跡	22

カサブランカの生育状況を見る佐竹あずささん (P22参照)

SEAプロジェクト に関する住民投票条例



SEAプロジェクト施設整備事業「道の駅」のイメージ図

平成28年 中土佐町議会

第5回臨時会

議案
審議

平成28年第5回臨時会が11月4日に行われました。臨時会では、町民からの直接請求に基づき、SEAプロジェクトと、役場庁舎高台移転の二つの事業に関する住民投票条例案が提出されました。請求代表者の意見陳述の後、議案の審議が行われ、いずれも賛成少数で否決されました。

条例の制定又は改廃を求め直接請求

地方自治法により、普通地方公共団体の議会の議員及び長の選挙権を有する者は、その総数の50分の1以上の者の連署をもって、その代表者から、普通地方公共団体の長に

対して、条例の制定又は改廃の請求をすることができる制度。

地方自治法には他にも、監査・議会の解散・議会の議員及び長の解職・主要公務員の解職を請求できる直接請求が規定されている。

SEAプロジェクト施設整備事業に関する住民投票条例制定請求の意見陳述(要旨)

行政懇談会で、私は「津波で流されるところに施設をつくり、公金の無駄遣いである」と指摘した。町長は「津波が来ても避難階段があるから人は逃げることができる。施設は壊れても仕方がない」との答えである。壊れることを承知で、約6億円の施設をつくるという無駄遣いはいけません。

町長は住民の生命、身体及び財産を守るのが使命であり、災害対策基本法や地域防災計画などを守らない行為は法律違反である。

突然、地震が起こり津波が来る。漁船は流され、道の駅は壊され、観光バスや車も流される。体が不自由な人や赤ちゃん連れなどは避難路を登れない人もいるし、影浦山は崩れやすい地質であり、山崩れで命を奪われるのであります。

町長は、津波を予見しており、町長及び賛成する議員は、その責を負うべきだ。

この計画を、町民自身が判断できるよう、住民投票を請求します。

請求代表者 竹内 玉男

※意見陳述の要旨のみを掲載しています。全文をお知りになりたい方は会議録をご覧ください。また当日の会議の様子はスマートフォン・パソコンでもご覧いただけます。

SEAプロジェクトに関する住民投票条例

「新港背後地に計画するSEAプロジェクト施設整備事業に関する住民投票条例(案)」は、事業に賛成・反対を住民投票により、決しようとするものだ。

本案に対しては、町長から提案理由の説明時、条例制定に反対である旨の意見が述べられた。

請求代表者の意見陳述、執行部への質疑の後、佐竹敏彦議員が反対討論、下元道夫議員、戸田晴喜議員、山中英男議員の3氏が賛成討論を行った。採決の結果、賛成少数で否決された。

▼反対討論

政治的に決着済みだ

佐竹敏彦議員 「請求に賛同してください」というチラシがあった。その中で「津波で流されるところ

役場庁舎建設位置に関する住民投票条例

町民から

住民投票条例制定 求める 直接請求



役場庁舎の完成イメージ図

役場庁舎の建設位置に関する住民投票条例 制定請求の意見陳述(要旨)

町長は、他に適当なところが見当たらないため、久礼中東斜面に役場庁舎を建設するという。人を助けるという視点が全然ない。後片づけに都合が良いというだけで、役場だけが助かるのである。多くの人が街中において避難を求める人のことを考えていない。

「久礼中学校グラウンド東側斜面」に建設したら、津波が来る。元気な人なら逃げることで済んでも、そうでない人は津波に流されて死ぬ。役場は津波を高い所から見ているだけでどうすることもできない。津波がひいて人が亡くなったあとの復旧・復興活動をするようになる。元気な人なら避難できても、そうでない多くの人に、犠牲者が出ることでしよう。

「久礼中学校グラウンド東斜面」へ20億円かけて役場だけ助かるか、「町民交流会館前広場」へ避難ビルを兼ねた建物を造ることに、避難場所に行けない弱い立場の人々の安心・安全が確保できるかである。

人命にかかわることは、町民自身が判断できるよ、選挙人の住民投票実施を請求するものである。

請求代表者 竹内 玉男

※意見陳述の要旨のみを掲載しています。

ろに施設を整備してよいはずがない」と書かれていた。

千年に一度の津波の高さは、久礼の市街地で13層前後と予測されている。中土佐町の沿岸部の住宅地は全て水没ということの意味する。観光拠点施設「ぜよびあ」も完成した。こういった論理から言えば矛盾している。人口の6割を占める久礼市街地の整備は、予算化するなどということの裏返しではないか。

SEAプロジェクトは、10年来議論してきた。議会も、一連の手続を踏んできた。代議制民主主義としての議会の議論は、一体何だったのかと思う。起工式が行われ、現在

着々と工事が進められている。住民投票条例が可決されても、建物は完成する。起債等の支払いのみ町民の肩のしかかる。所期の目的を達成していないということ、国費や県費の返還を求められることも予測される。町民は、ただ借金を返すということにもなりかねない。

この事業は、政治的には決着のついた事業だ。

▼賛成討論

住民意思確認必要

下元道夫議員 S E A プロジェクト整備事業は、基本計画の検討もないうまま実施設計がつけられた。臨時会で工事請負費等の関連予算が可決され、現在工事が進められている。町長は、平成24年9月定例会で、新港背後地計画に対する住民アンケート調査の実施を拒否した。行政懇談会、また「広報なかとさ」等で計画に對

する説明は行ってきているが、住民の真の意向が反映されたかどうか疑問である。

商店街からの質問状が出されたことは、事業の進め方に問題があったと考えるべきだ。また、町長は今年の9月定例会の行政報告で、温泉活用を検討しているという考え方を示した。温泉施設は議会の否決を踏まえ、「慎重な対応を」との議会の要望書を無視するものではないか。

今回提案されている住民投票条例は、住民の意思を改めて確認するということだ。経過並びに意見陳述を踏まえ、本条例に賛成する。

住民参画が必要

戸田晴喜議員 S E A プロジェクトは、1次産業の活性化をどのような手段でやるかということが、具体的に説明されなかつた。

漁協その他、直接行つ



工事が進む新港背後地の「道の駅」

て聞き取りしたところでは、直接参加は非常に難しいという話を承った。農業・漁業の各組合からの資本出資は10万円ということだ。これが産業の振興を担う重要事業と考える出資額とは、私は到底判断できない。

大正町市場とどのように共存共栄させるのか疑問が生じる。交流人口を大正町市場に誘導するとの話があった。実際にどのようにやるのか。大正町市場の中で、主力の生鮮魚介類等の販売に影響を及ぼすものが、今後、施設に入ってくるのではないのか。町の第三セクターで経営されている黒潮本陣との共存共栄をどのように図っていくのか。大事な部分が欠落している。この部分がない状態で、走りながら運営を考えていくというのは矛盾している。

大きな負担を伴うものだ。経済・産業に資するというところであれば、反対理由として今まで討論で述べたことが解決され



「道の駅」開業後の影響が懸念される大正町市場

るまで、この計画は凍結すべきだ。また住民参画なくして一次産業の振興はあり得ない。このあたりがきちつとするという意味で、住民投票をする原案に賛成する。

影響は計り知れない。漁業の振興も見通せていない。議会の7項目の要望にも十分沿っていない。町が活性化するどころか、ダメージになる。

施設は津波で流失

山中英男議員 この事業は、町民にとってメリットは全くない。町長・執行部は大正町市場とも競争するとも言っている。惣菜・フードコーナーまでつくり、大正町市場への

津波が来れば全部壊れる。残るのは借金だけだ。住民は数十年にわたってこの債権を払わなければならなくなる。町長は、発災以後については何も語らない。政治生命をかける覚悟が必要だ。この条例に反対するのは住民軽視だ。条例制定に賛成する。



新役場庁舎が建設される久礼中学校東側

役場建設位置に関する住民投票条例

「中土佐町役場中土佐庁舎の建設位置に関する住民投票条例(案)」は、役場庁舎の建設位置について住民投票で決めようというものだ。投票は、町民交流会館前広場か、現計画どおり久礼中学校東側に建設するか二者択一によるものだ。本案に対しては、町長から提案理由の説明時、条例制定に反対である旨の意見が述べられた。請求代表者の意見陳述、

▼反対討論

執行部への質疑の後、佐竹議員が反対討論を行った。採決の結果、賛成少数で否決された。

合併特例債間に合わず

佐竹敏彦議員 庁舎は災害の救援・救助の拠点施設、司令塔である。

町民交流会館前広場(の海拔)2・3メートル。津波の想定は13メートル前後。久礼中学校と同じ高さということなら20メートル以上の土

合併特例債

平成の合併による市町村建設計画で計画されている事業に充てることのできる地方債。事業費の95%まで借入れができ、元利償還金の70%が地方交付税で補てんされる有利な起債。発行期限は平成32年度。

地の造成が必要になる。役場庁舎整備費は土地造成を含めると、20億円以上と見積もられる。この条例が可決し、住民投票で過半数となれば、(合併特例債の発行期限までに完成しないと)経費を主に町費で負担していく必要がある。

町民に多大な負担をかけてまで、町民交流会館前広場に役場庁舎を建設するというのはいかがなものか。合併特例債など、町にとって有利な起債で役場庁舎を改善する方法を選ぶのが賢明だ。

スマホ・パソコンで議会を

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できますので、次の順序で、ぜひご覧ください。



※ホームページ等の内容は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

公共施設移転等事業 5億8千万円の増額

平成28年
中土佐町議会

12月定例会

平成28年12月定例会は12月1日開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

6日・7日には一般質問（P8から関連記事）が行われ、7人の議員が、町の課題について執行部の考えをただしました。

9日には議案の審議が行われ、町長提出の14議案を可決、教育委員の任命に同意、平成27年度決算を認定しました。

その他9月定例会において総務常任委員会に付託されていた「島ノ川国有林区区域への通信手段を確保することを求める陳情」を採択しました。また中城重則議員から提出された「参議院選挙の合区の見直しに関する意見書」を可決し、閉会しました。

案議 議審

一般会計補正予算 (第3号)

「平成28年度一般会計補正予算（第3号）」は、4億3992万円が追加され、補正後の額が77億6066万円となった。

この中で、公共施設移転等事業費は、今回の補正予算1億859万円と来年度以降の継続費4億7867万円の補正を合わせ、5億8726万円の大増額となった。

これに対し、計画に掲げる54億円の全体予算が、今後増額されることがないかとの議員からの質疑に、町長は「全体予算を守る体制を構築していく」と答弁した。

質疑ではその他、電子計算費、SEAプロジェクトの 프로모ーション委託料、臨時福祉給付金、



残土処理費等により大幅な増額となる見込みの久礼保育所用地の造成箇所

国土調査費など、今回補正された事業に対し、執行部に説明を求めた。討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

指定管理者の指定の追認（黒潮本陣）

「指定管理者の指定の追認（黒潮本陣）」は、3月31日で指定期間が終了したことを失念していたため、今議会で「黒潮本

陣・黒潮工房」の指定管理者を「(株)地域振興公社」とすることの追認を求めたものだ。

質疑はなく、中城重則議員が賛成討論を行った。その後採決を行い、全会一致で可決された。

賛成討論

人員配置に配慮を

中城重則議員 最近、こう

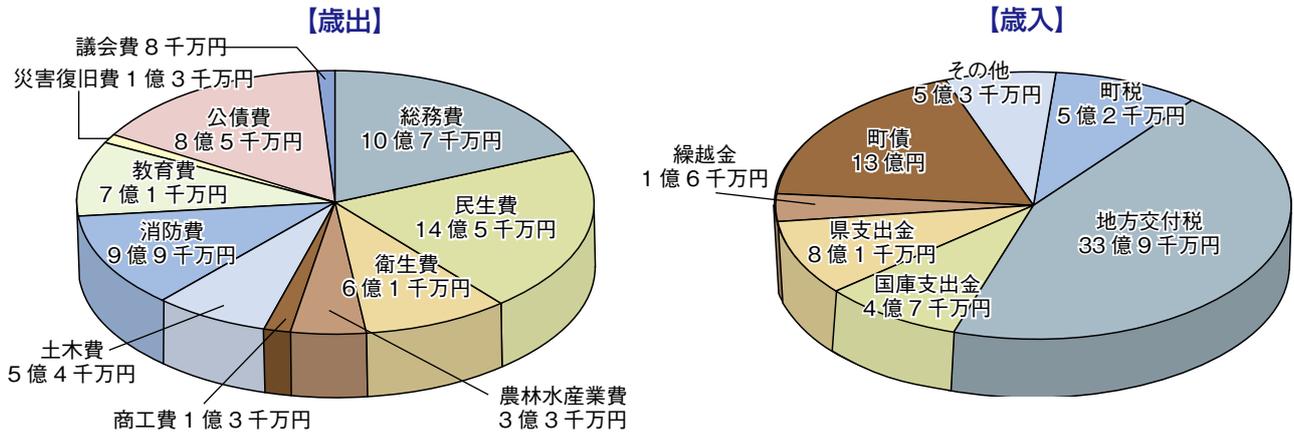
いった件がたびたび発生している。議会軽視との批判にもつながってくる。こういうことが一目でわかる台帳整備と、課内の共有・連携を図れるような体制が必要ではないか。近年、役場職員も南海トラフ地震対策、公共施設の移転や行政改革等で事務量が増え、多忙を極めてい。ただ多忙ということだけでは言い訳にはならない。

水産商工課には課長補佐がいらない。他にも補佐がいらない課等が存在する。いても、仕事を持ち過ぎて一係になってしま。課長補佐の役割を果たしていないようにも見受けられる。こうした中で、課長に負担がかかり過ぎ、チェック機能が働いていないのではないかと、定数の問題もあるが、人員配置には今後十分配慮すべきではないかというのを、この機会に町長・副町長に求め、今回は賛成する。

平成27年度決算を認定

歳出総額97億3449万円

【一般会計歳入歳出の内訳】



平成27年度各会計歳入歳出決算の状況

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一般会計	7,175,572	6,888,129	287,443	80,431	207,012
国民健康保険特別会計	1,290,998	1,290,998	0	0	0
簡易水道特別会計	184,694	184,659	35	0	35
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3,100	2,785	315	0	315
農業集落排水事業特別会計	64,411	63,817	594	0	594
介護保険特別会計	1,194,268	1,194,234	34	0	34
後期高齢者医療特別会計	113,185	109,870	3,315	0	3,315
合計	10,026,228	9,734,492	291,736	80,431	211,305



平成27年度に完成した上ノ加江保育所で遊ぶ園児

平成27年度各会計歳入歳出決算認定

「平成27年度中土佐町各会計歳入歳出決算」は、9月定例会において総務常任委員会に付託されていたが、委員長から「認定」との審査結果が報告された。

採決の結果、委員長の報告のとおり「認定」と決定した。

一般会計は、歳入総額71億7557万円。歳出総額68億8812万円で、翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支額は、2億701万円の黒字となった。

特別会計は、国民健康保険会計が歳入歳出が同額であったが、その他会計の実質収支は黒字となった。

一般質問

～所信を問う～



下元 道夫 ……P9
■漁業所得向上へ取り組みを
■水道が公営企業会計へ



戸田 晴喜 ……P10
■長期避難者計画は
■人口減少に対する考えは



佐竹 敏彦 ……P11
■「保育落ちた、死ぬ」は
■教育勅語の基本理念は



松下 裕之 ……P12
■奥四万十博の効果は
■若者に政治への関心を



山中 英男 ……P13
■発災後医療機関との連携は
■漁協旧市場は倒壊の危険



福永 守恭 ……P14
■七面鳥生産量拡大は
■テナガエビ養殖試験は



岡 伊三男 ……P15
■大川小の判決を受けて
■被災時の仮設住宅用地は

12月6日・7日の2日間、一般質問が行われました。一般質問では、7人の議員が、防災対策や産業振興、人口減少問題など町の重要課題について、執行部の考えをたどりました。

漁業所得向上へ取り組みを

冷凍技術の研究を指示

問平成28年度の水揚げ状況、鰹乃國水産の運営状況を聞く。

多田水産商工課長平成28年度の水揚げ量全体は373ト。水揚げ額は2億4140万円で昨年と比べ5159万円の増だ。

近海(大型)カツオ船2隻の合計水揚げ量は1370ト。額は4億9651万円で昨年と比べ3972万円の減だ。沿岸のカツオ船5隻の合計は水揚げ量314ト。額は1億9630万円で昨年

と比べ4467万円の増額となっている。

鰹乃國水産の売上額は、平成27年度677万円。平成28年度は、10月まで1261万円となっている。

問カツオ・メジカ以外の取り組みを聞く。

多田水産商工課長スラリアイスを活用したカツオ・メジカ以外の取り組みを行ってきたが、具体的な商品化・販売には至っていない。

問生で最高の物の技術は確立している。今後は、新たな市場に向け、冷凍技術の検討が必要と考える。そして、国内外市場の検討も必要だ。考え方を聞く。

多田水産商工課長冷凍技術の導入・検討は、現在、鰹乃國水産で試作を行っている。シーズン以外での要望が多く、冷凍販売は水揚げが大漁となったときの極端な下落を防ぐ。このため魚価の安定につながるかと考えている。

問生でも冷凍でもトップという仕組みが漁業者の所得向上につながっていく。町長の考えを聞く。

海外市場についても、商社等から引き合いが複数ある。

池田町長大量に獲れると値が下がる。これを一定の料金で買い取り、年間を通じて出していけるのが冷凍の強みだ。鰹乃國水産にも研究を指示している。



大判カツオ 2.6 トンの水揚げ (昨年 12 月)

水道が公営企業会計へ 経営は水道使用料で

山本町民環境課長(水道) 経営に伴うものは、収入(水道料)で行わなくてはならなくなる。

問上ノ加江・矢井賀の配水池の耐震化は。

山本町民環境課長上ノ加江・矢井賀はかなり古い施設となっている。更新計画では、優先順位はトップのほうにあると考えている。

問平成29年4月、簡易水道会計が公営企業会計に移行する。変わるところを聞く。

問今後耐震化等もあるということだ。住民に過度の負担をかけないため、簡易水道会計への財政支援が必要と思うが、考えを聞く。

池田町長現段階で、簡易水道会計にお金を出す考えはない。

公営企業会計

企業会計原則に基づき、原則として独立採算方式で行われる。取引について正規の簿記の原則に従って、会計帳簿を作成しなければならない。



老朽化が進んだ上ノ加江の配水池

下元道夫





戸田晴喜

長期避難者計画は 町有財産を中心に

問 L2クラスの避難者は6400人に及ぶと書かれている。長期避難者の人数がある程度把握しているのか。

平田総務課長 長期避難者

等、詳細は把握していない。仮設住宅等に移られる方は、4000人と想定している。

問 1週間以内に移動できる計画をきちつと住民に示さないと、長期避難者は安心できない。計画を早く立てるべきでは。

平田総務課長 仮設住宅・残骸処理場等、今のところ町有財産を中心に計画を立てている。不足する分は、来年度以降に固めたい。

L2クラス
発生すれば甚大な被害を及ぼす恐れがあり、あらゆる可能性を考慮したM（マグニチュード）9クラスの巨大地震・津波。おおむね100年から150年周期で発生するM8クラスの地震・津波がL1。

問 大野見地区は、断層が断片的に走っている。相当の山崩れが想定される。救出計画は立てているか。

平田総務課長 大野見地区

において、山津波の危険性や孤立化の部分を感じている。今のところ、具体的な対策は検討していない。



平成16年の台風による豪雨で、大野見畑（上）と、崩落した押谷川（右）



人口減少に対する考えは

出生率2.27を目標に

問 平成60年、総人口を5千人にという長期ビジョンがある。人口が少ない大野見・上ノ加江は、とことん減っていく。人口の将来展望の基本的な考

え方は。

下元企画課長 1期目として、受け入れ基盤の整備。平成32年から42年にシニア世代を含めた集中受け

入れ。平成72年までに子育て世代受け入れということを取り組んでいる。

問 人口ビジョンの中で、触れられている1次産業の6次化を真剣にやらないと、中土佐町全体の人口減少の歯止めとならない。このアクションプラン（行動計画）がなければ難しい。具体的な計画は立てているのか。

下元企画課長 人口ビジョンをもとに「まち・ひと・しごと総合創世戦略」も作成している。スケジュールは、KPIを設定し、平成31年度を目

標に進めている。1次産業の6次化も、まず5年計画で実施している。

KPI
組織や事業、業務の目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと。

池田町長 各種の事業を実行するアクションプランを描くため、直接指示をしながら、各課とヒアリングも行っている。まだ不十分であるが、出生率1.4を2.27まで上げる目標を立てている。町に新しい人口を増やしていきたい。



人口減少により耕作放棄が進む町内の農地



佐竹敏彦

「保育落ちた、死ね」は

ネット上のマナーを学習

問「保育園落ちた、日本死ね」はヘイトスピーチだ。「死ね」という言葉は、学校現場で起きている深刻ないじめを助長・増長させる。

いじめに遭っている子どもにとって、どれほど心に深く突き刺す言葉か。マスコミの方々は学校では秀才だが、人権感覚を疑う。ヘイトスピーチは、人権問題にかかわる許されざるべき典型例だとして捉え、学ぶべきでは。

中城教育長 顔も見せない、

名前も出さない匿名での他人の悪口や暴言は非常に残念。流行語大賞はゆしき問題だが、大都市圏での深刻な保育所待機児童問題が背景にある。核家族化の中で、共働したくても、子どもが保育所に入れない極めて厳しい事態の中の言葉だ。状況から一般的に解されるヘイトスピーチではない。

学校教育では、当然使う言葉ではないので、表現の仕方やネット上のマナーは学習する。

ハーグ陸戦法規(条約)
戦争や戦闘のやり方について規定された条約。使用してはならない戦術、降服・休戦などが規定されている。

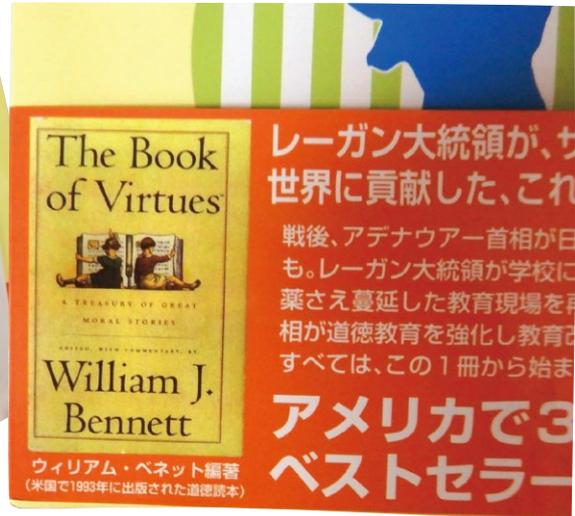
教育勅語の基本理念は

一部を除き今でも大切

の意向の下、国会で廃止決議された教育勅語に基づいて作られた日本の道徳読本は、米国で「THE BOOK OF VIRTUES」と訳され、三千万部以上発行のベストセラーとなった。
(当時の)レーガン大統領は、荒廃した学校現場の立て直しに、これをもとに取り組み、改善が図られた。日本でも、蘇りつつあるが。

中城教育長 明治23年10月公表の教育勅語の中の一文中で、12の徳目は、最後の1項目を除き、今でも大切にされている徳目だ。最後の1項目に「一たび事あらば、心から勇気を持って公のために尽くし、国と天皇家を守るのが国民の務めである」という解釈ができる文章がある。
教育勅語は、現在の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義をうたった現憲法、教育基本法にそぐわない思想だ。

問「父母に孝に兄弟に友に夫婦相和し朋友相信じ恭儉己を持ち博愛衆に及ぼし学を修め業を習い以て智能を啓発し徳器を成就し進んで公益を広め世務を開き常に国憲を重んじ国法に遵い一旦緩急あれば義勇公に奉じ以て天壤無窮の皇運を扶翼すべし」と教育をされてきたが、基本理念は是か非か。ハーグ陸戦法規という国際法違反の戦後GHQ



佐竹議員が一般質問の参考とした「道徳読本」と当著書の帯に印刷された「The Book of Virtues」



松下裕之

奥四万十博の効果は

宿泊関連には効果なし

問 各地区で行われたイベント、また、それ以外で奥四万十博効果を感じたものがあるか。

多田水産商工課長 大正町市場や久礼の町歩き等多くの方が来てくれている。黒潮本陣など宿泊施設関連は効果が上がっていない。総評は、各種調査を実施しており、報告は2月頃になる。

「まるごと市」は

問 「まるごと市」は、町のPR、来てみたいと思われるようなイベントにしたいというのが目的だった。思ったような成果を感じたか。反省点を挙げるとすれば何か。

下元企画課長 町を売っていくという情熱を持った関係者の皆様の協力があり、予想以上のお客様に来てもらった。大きな反響があったと実感し、強みも感じた。

一部で商品が品切れになり、急ぎ補った。

来年の「かつお祭り」は

問 来年の「かつお祭り」では、背後地を駐車場として使えない。どういった対応をするのか。

祭りが大きくなりすぎ、職員・各団体やボランティアの負担が増している。「道の駅」の完成によって形を変える考えはあるか。

多田水産商工課長 実行委員会では、駐車場を確保

する前提で、例年どおりの内容で実施すると決定した。シャトルバスを多数確保するなど多くの課題がある。

池田町長 祭りを支えてくれている組織の変化や高齢化の問題もあり、今までの規模での祭りは厳しいと危惧している。やめるとなると町の大きなPR効果を失う。「道の駅」ができた後、意見を伺って第29回について考える。



11月25日から27日の3日間、高知市の中央公園で開催され、多くのお客さんと賑わった「中土佐まるごと市」

若者に政治への関心を

1票が地域を変える仕組みに

問 夏の参院選での10代の投票率は。

平田総務課長 18・19歳は有権者130名。このうち39名が投票した。投票率は30%となっている。

問 政治に関心を持ってもらう意味でも、小・中学校で地域を知る授業や、愛着を持たせることが大事だ。

模擬議会の復活は。

中城教育長 (地域を知る授業などは) 現在でもやっている。町の課題に子どもたちが直接参加をして、地域社会への参画意識を養うものと期待している。

模擬議会については検討する。

問 29歳以下が26・4割の投票率だ。若い議員のなり手がいなくなる。若者との政治の距離を縮めるには、町としても啓発活動をしていくべきではないか。

池田町長 自分の1票、行動が地域を変えていく仕組みを作らないと投票率の向上にはならないと思う。

模擬議会の復活も含め、若い皆さんが政治に関心を持ってもらうような環境づくりをしていきたい。



山中英男

問 発災後の町内医療機関との連携は。罹災証明書が発行が必要になるが、体制は。

今橋健康福祉課長 地震が発生した場合、地域の医師や医療機関、自主防の

発災後医療機関との連携は 医療救護病院を指定



平成 27 年に行われた医療救護所運営訓練

医療救護病院
災害発生時、市町村と連携し医療救護活動を行う市町村長が指定した病院。

協力を得て、医療救護活動を開始する。医療救護病院は「なかとさ病院」「くぼかわ病院」を指定。救護所は「大野見診療所」「久礼中学校」を指定している。上ノ加江地域は、小学校避難所救護チームを発足させる準備会を行った。

平田総務課長 (罹災証明の発行は) 発災後、被災生活再建支援金、住宅の応急修理、仮設住宅入居基準など、被災者支援策を受ける際に必要となる大変重要な業務となる。認定基準に従い「全壊」「大規模半壊」「半壊」「半壊に至らない」の4区分に認定する。13人が、高知県が実施する養成講座を受け、住家被害認定士として認証されている。罹災証明書を発行する事務は税務課が対応する。



倒壊の危険性が心配される久礼漁協旧市場

漁協旧市場は倒壊の危険

町ができるところは協力

問 久礼漁協旧市場の現状は、いつ倒壊してもおかしくない状況だ。夜間、釣り人や車両も見かける。行政主導で、漁協が新港へ移ったと私は思っている。移転によって体力も弱ったとも聞いている。行政も、そのまま放置という訳にはいかなのでは。

多田水産商工課長 同施設は、久礼漁協所有の施設であり、具体的な案はない。

池田町長 久礼漁協の新港への移転は、行政主導よりも漁民の要望で行われ、漁協自らの判断で移った。信用の部分が弱まることも漁協自身が理解されて移転した。間違いのないようにしていただきたい。行政が協力できるところは協力していく。



福永守恭

七面鳥生産量拡大は 新しい施設建設も

問「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の地場産業の振興と地場産品の強化の一つに七面鳥の生産を増やす計画がある。生産者の高齢化・食鳥処理施設の改善・衛生管理・販売方法等の課題と改善策について聞く。

橋本農林課長 施設は適正な処理を行っていく上で老朽化の問題があり、施設及び設備の更新も検討している。
衛生面は平成27年度にHACCPの研修を受け、習得した衛生意識の徹底を図っている。
販売方法は、冷凍商品の業者向け卸・小売直接販売、イベントでの対面販売等だ。

池田町長 新年度に七面鳥に対応する地域おこし協



七面鳥を処理している食鳥処理施設の内部

力隊を採用し、研修にも行ってもらおう。
生産者とも協議する中で、新しく施設を作ることも可能ではないかとも思う。

HACCP (ハサップ)
食品の製造工程における品質管理システムのこと。最終製品の抜取検査方式ではなく、製造プロセス全体において、予測される危害(HA)を分析し、重要管理点(CP)を定める方式。

テナガエビ養殖試験は

内水面漁業の重要施策

問「四万十あゆ種苗センター」でのテナガエビの養殖試験の経過状況について聞く。

多田水産商工課長 平成27年度から民間会社が養殖に取り組んでいる。昨年はわずかに数百匹の種苗を得るにとどまり、本年は稚エビを得ることができてない。親エビを中心に200匹が生存している。四万十川のテナガエビの漁獲高は激減している。技術を習得すれば大きな需要があると考えており、事業は継続していく。

また100ト水槽を利用した新たな魚種にも挑戦したいとの(民間会社の)意向だ。
内水面漁業振興の重要な施策と位置付け、今後引き続き支援していく。



テナガエビの養殖試験が行われている「四万十あゆ種苗センター」(上)とテナガエビ(右)

大川小の判決を受けて

上ノ加江中避難は裏山へ

問「大川小学校側は、津波襲来を予見でき、助かった可能性が高い裏山を避難先に選ばなかった過失がある」と認定し、仙台地裁は、計約14億2600万円の支払いを市と県に命じた。この判決をどのように捉えるか。

問上ノ加江中学校は訓練で小学校に避難した。裏山に一時避難をすべきで、生徒の命を重視するならば一度検討を。

中城教育長 学校、教育委員会等としては、非常に重大な判決である。子どももの安全管理という意味で、極めて不備の対応があったことを認めた判決だ。

中城教育長 一次的に裏山の町道に避難する。安全を確認後、小学校へ向かう。津波浸水予想区域内に残る学校であり、(裏山の町道が)安全に避難できる場所か確認を早急に行いたい。



岡伊三男



町内の学校で唯一、津波浸水区域内にある上ノ加江中学校



多くの児童が犠牲になった大川小学校



児童の避難が可能ではなかったと思われる大川小学校近くの山



児童が最初に避難しようとした小高い丘。この丘の向こう側を北上川が流れる

※大川小学校関連の写真は、震災1年後の平成24年4月に本町議会が視察した当時のものです。

被災時の仮設住宅用地は

83600㎡不足

計画の中で考えていく。

町民から直接請求

問(直接請求代表者の)意見陳述があった。町長に対して批判的であったが、どのように受けとめているか。

池田町長 見解の相違以外の何物でもなく、裁判に持ち込むような問題でもない。

新庁舎への関わりは

問庁舎等の高台移転は平成32年度中の完成予定である。完成までにどのように関わっていくか。

池田町長 任期は平成30年2月4日までだ。与えられた期間の中で職責を全うし、全身全霊をかけて取り組んでいく。

問(仮設住宅建設場所)候補地の事前準備がなく、熊本県内7市町村は、用地・資材確保が難航し、仮設住宅の完成が遅れた。候補地を旧中土佐地区に検討すべきと考えるが。

平田総務課長 町内全域で11万6200平方メートルが必要となる。供給可能面積は、各小中学校のグラウンド3万2638平方メートルしか確保できていない。8万3600平方メートルが不足する。応急機能配置

委員会活動報告

12月定例会の初日(12月1日)、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

災害時の備蓄品充実を

防災対策を調査／総務常任委員会

防災に関する調査では、大野見青年の家前に建築された備蓄倉庫の現地調査を行った。保管物品を確認し、発電機・調理器具等のさらなる充実を総務課に求めた。矢井賀地区は備蓄倉庫の建設の準備ができています。上ノ加



大野見地区の備蓄倉庫に保管された災害備蓄品

江地区も建設に向け、場所等の検討・確定に努力するという確認をした。避難計画及び避難後の生活に関する調査では、上ノ加江地区で避難計画ができていますが、他の地

区では完成していない。長期の避難生活を想定し、高台の造成整備や生活水の確保が重要であるとの意見もあった。避難所の短期・長期の管理運営に関する計画書を早期に作成し、現場訓練できるように求めた。

「町道小草線」の亀裂状況調査では、現在、雨水対策を行っている。地盤の変化を測定し、対策を講じるとのことだ。

天日塩は町内で販売

産業施設等を調査 ／産業建設常任委員会

「四万十あゆ種苗センター」でのテナガエビ養殖は、研究段階で養殖には至っていない。

「ぜよびあ」は、利用者が多く、団体の受け入れが便利になった。トイレ施設も好評で、2階は乙姫会の商品開発や英会話教室などに利用されている。

「黒潮本陣」は、オープン時より売り上げは減

少している。奥四万十博の効果は出ていない。課題は従業員の確保で、特に調理師が足りない。今後は宿泊に力を入れ、レストランは予約を主にしたいとのことだ。

「天日製塩施設」では、まだ量産体制に至っていない。生産目標は年間2トである。販売は「黒潮本陣」を主に町内で小売販売しているとのことだ。

また、須崎土木事務所と意見交換を行った。上ノ加江トンネルの照明が暗いということに対しては、規格値を満たしているとのことだ。上ノ加江山内の砂防堰堤の洗堀箇所は対応可能である。本体も調査し対応するとのことだ。「県道窪川中土佐線」の改良は、用地問題の解決が必要となるとのことだ。「久礼新港耐震バース」は40口の計画だが、延長を求めてきた。



日製塩の説明を受ける産業建設委員



産業建設委員会の四万十あゆ種苗センター内のテナガエビ養殖の視察

町民の入館者増が課題

社会教育施設等を調査 教育民生常任委員会

10月25日、教育委員会所管の町立文化館・町立美術館・教育研究所を視察し意見交換を行った。

「文化館」は、1階が図書館で蔵書約2万冊。年間図書購入費60万円、ベストセラー本や要望に応じて購入している。2階の視聴覚室は、床やカーテンが老朽化している現状だ。

美術館は、絵画等約700点を所蔵。企画展などで近年300人超の入館者だが、町民の入館者増の対策が課題である。

教育研究所は、学校教育の振興を目的に平成4年に設置され、所長以下職員3名だ。町独自の中土佐検定の作成作業に従事し、基礎学力の向上に向けた学習内容の編成をしている。

JR四国に対する「須崎駅以西のダイヤ改正要

望」は、11月29日、JR四国本社運輸部長名で「現在の久礼駅での利用状況等を踏まえると、列車を増発することは困難」という回答をもらった。



教育民生委員会の美術館の視察調査



教育委員会から事業説明を受ける教育民生委員

池田町長の行政報告

「道の駅」今年7月開業

1. 平成29年度予算編成方針

SEAプロジェクト施設を核に、産業観光振興・雇用促進・所得向上等につなげていく。

2. 南海トラフ地震対策

住宅の耐震化事業は、町の上乗せ補助を加え、122万5千円となった。補助金増額後、耐震工事11件の申請があった。

3. 中土佐まるごと市

11月25日～27日まで3日間、町外の4団体を含む26団体の参加により、高知市にて実施。町を売り出すということは一定達成できた。

4. 奥四万十博と今後の観光振興

4月10日に始まった奥四万十博も12月25日で閉幕する。移動式の案内所で、10月末で3131人を案内した。今後の観光振興として、「久礼の町歩き」等が予定されている。

5. SEAプロジェクト

現在は基礎工事に取り掛かっている。夏の開業に向け順調に作業が進められている。

6. 公共施設の移転事業

所要の許可が下り次第、新設横断橋、移転用地造成工事発注の準備に入る。各施設の建築設計は、設計者選定を進めている。

7. 簡易水道会計の公営企業会計移行

簡易水道事業は、平成29年4月から「公営企業会計」へ移行させるための準備を進めている。

8. 映画「土佐の一本釣り」全国ロードショー

12月25日、東京で公開が決定。その後名古屋、大阪、2月から高知で上映が予定されている。

反対しました。

○・・・賛成 ●・・・反対 /・・・議長

審議した議案等	議員名											可 否
	岡 伊 三 男	戸 田 晴 喜	山 中 英 男	山 下 世 仁 子	黒 原 昭 一	中 城 重 則	下 元 道 夫	佐 竹 敏 彦	福 永 守 恭	松 下 裕 之	本 井 康 介	
簡易水道事業の地方公営企業法の一部適用に伴う関係条例整備 ※簡易水道事業への地方公営企業法の適用に伴い、関係条例を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算(第4号) ※公共施設移転等事業等4億3992万円を増額し、予算総額を77億6066万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国保特別会計補正予算(第2号) ※保険財政共同安定化事業等1923万円を増額し、予算総額を13億3067万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易水道特別会計補正予算(第2号) ※水道料金システムサーバー更新委託料等94万円を増額し、予算総額を2億5091千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水特別会計補正予算(第2号) ※維持管理費等326万円を減額し、予算の総額を6708万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険特別会計補正予算(第3号) ※居宅介護サービス等給付費等339万円を減額し、予算の総額を13億2223万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教育委員会委員の任命 ※上田秀人さんを再任するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
平成27年度各会計歳入歳出決算の認定 ※一般会計を含む7会計の決算の認定をするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
島ノ川国有林区域への通信手段を確保することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
参議院選挙の合区の見直しに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

グラウンドゴルフ で親睦



12月19日、老連グラウンドゴルフ部や社会福祉協議会の協力のもと、12月とは思えない陽気の中「第10回議長杯グラウンドゴルフ大会」が開催されました。議員を含め33人の参加者が親睦を深めることができました。



優勝した久保八重子さんと本井議長

避難路で キャンドルナイト



町民の皆さんが、久礼小学校へ上る津波避難路に親しんでもらおうと、12月17日「命の道を照らすキャンドルナイト」を開催しました。

この日は、地域のつながりを深めようと、地域や団体も協力し、避難路にキャンドルやイルミネーションが飾りつけられました。この他、子どもたちのダンスが披露され、また夜店も出店されるなど、多くの町民の皆さんで賑わいました。

私は、賛成

《第5回臨時会の主な議案と議員の賛否》

審議した議案等	岡伊三男	戸田晴喜	山中英男	山下世仁子	黒原昭一	中城重則	下元道夫	佐竹敏彦	福永守恭	松下裕之	本井康介	可否
SEAプロジェクト施設整備事業に関する住民投票条例 ※事業の賛否を問うもの	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●		否決
中土佐町庁舎の建設位置に関する住民投票条例 ※建設位置を久礼中東側か交流会館前かを問うもの	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●		否決

《12月定例会の主な議案と議員の賛否》

指定管理者の指定の追認(黒潮本陣) ※(株)地域振興公社を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
財産の取得 ※津波避難救命艇を購入するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
財産の取得 ※「道の駅」の施設厨房機器を購入するもの	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○		可決
観光拠点施設の設置管理条例の一部改正 ※「ぜよびあ」を正式名称とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
一般職の給与条例の一部改正 ※高知県人事委員会勧告の趣旨に沿うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
職員の配偶者同行休業に関する条例 ※地方公務員法の改正に伴うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
簡易水道事業の設置等に関する条例 ※地方公営企業法の財務規定を適用するためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例 ※簡易水道事業に地方公営企業法を適用することに伴い、利益の処分の方法等を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

会議録を閲覧できます。

インターネット中継の映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、中土佐町のホームページ及び議会事務局でご覧いただけます。

3月定例会日程(予定)

- 3月7日(火) 行政報告・議案の提案理由説明・委員会活動報告 他
- 3月14日(火) 一般質問
- 3月15日(水) 一般質問
- 3月17日(金) 議案等の採決 他

※日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。

議会に対するご意見などを募集しています。

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

ご投稿先 〒780-1301 中土佐町久礼6602番地2
中土佐町役場議会事務局

議会は、どなたでも傍聴できます。



入場時は入口の注意事項をお読みください。

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成28年10月1日～平成28年12月28日)》

議員名		岡伊三男	戸田晴喜	山中英男	山下世仁子	黒原昭一	中城重則	下元道夫	佐竹敏彦	福永守恭	松下裕之	本井康介
10月5日	議会広報常任委員会(中土佐庁舎)	/	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/
10月6日	SEAプロジェクト施設新築工事安全祈願祭(新港背後地)	○	●	●	○	○	○	●	○	●	○	●
10月7日	第10回高幡町村議会議長会親睦体育大会(越知町)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月17日	地方議会活性化セミナー(静岡市)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○
10月20日	産業建設常任委員会(須崎土木事務所・町内)	/	○	/	○	○	○	/	○	/	/	○
10月21日	総務常任委員会(町内)	○	○	/	/	/	/	○	/	○	/	○
10月25日	教育民生常任委員会()	○	/	○	/	/	○	/	○	/	○	/
10月26日	町村議会広報研修会(東京都/シェンバツハ・サポー)	/	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/
10月27日	トップセミナー(高知県民文化ホール)	/	●	/	/	/	○	○	○	/	●	○
11月4日	議会運営委員会(中土佐庁舎)	/	○	/	/	/	○	○	○	/	/	○
	第5回臨時会()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決算認定連合審査(健康福祉課)()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月7日	決算認定連合審査(健康福祉課以外)()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月12日	第6回議長杯パークゴルフ大会(小草パークゴルフ場)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月25日	議会運営委員会(中土佐庁舎)	/	○	/	/	/	○	○	○	/	/	△
11月29日	全員協議会()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月1日	12月定例会(1日目)()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会()	/	○	/	○	○	/	○	/	/	/	/
	議会広報常任委員会()	/	/	/	○	○	/	○	/	/	/	/
12月6日	12月定例会(2日目)()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月7日	〃(3日目)()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月9日	〃(4日目)()	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会()	○	/	○	/	/	○	/	○	/	○	/
12月19日	第10回議長杯グラウンドゴルフ大会(大野見奈路グラウンドゴルフ場)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月22日	全員協議会(中土佐庁舎)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席 △・・・一部欠席 ●・・・欠席 /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゆうが？

《議長の主な活動状況（平成28年10月1日～平成28年12月28日）》

● 10月

- 1日 上ノ加江保育所運動会（上ノ加江保育所）
久礼保育所運動会（久礼保育所）
- 2日 大野見保育所運動会（大野見保育所）
- 4日 J R 四国への陳情【議長・佐竹教育民生常任委員長】（高知駅）
- 5日 なくせじん肺全国キャラバン訪問（中土佐庁舎）
- 13日 第57回四国地区町村議長会研修会【正副議長】（香川県）
- 15日 県選出国議員と町村長・町村議会議長との意見交換会（高知県自治会館）
- 16日 第11回大野見しんまいフェスタ（J A 四万十大野見支所）
- 22日 高知県自治会館新庁舎落成式（高知県自治会館）
- 23日 第4回ふるさと土佐交流会（高知県人会近畿連合会設立44周年記念）（大阪新阪急ホテル）

● 11月

- 1日 高知県戦没者追悼式（県民文化ホール）
四国横断自動車道高知県建設促進期成会四国地方整備局へ要望（香川県 / サンポート合同庁舎）
- 3日 上ノ加江町民運動会（上ノ加江中学校）
- 5日 禰原町制施行50周年記念式典（禰原町地域活力センター）
- 8日 県選出国議員と町村議会議長との意見交換会（東京都 / ホテル・ルポール麹町）
- 9日 第60回議長全国大会（東京都 / NHKホール）
- 10日 高幡町村議長会研修会（神奈川県 / 三浦地域資源ユーズ株式会社）
- 11日 中土佐町戦没者追悼式（町民交流会館）【全議員】
- 15・16日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会国土交通省、国会議員への要望（東京都 / 国土交通省）
- 21日 高幡広域事務組合との打ち合わせ（中土佐庁舎）
- 25日 第68回関東高知県人大懇親会（東京都 / 東武ホテルレバント東京）

● 12月

- 8日 大野見南地区集落活動センター起工式【議長・戸田議員・福永議員】（大野見竹原）
- 14日 中土佐消防団上ノ加江分団入魂式（上ノ加江屯所）
- 16日 須崎警察署員との交流会（須崎市 / レストハウス琵琶湖）
- 17日 中土佐町立美術館大賞表彰式・祝賀交流会【正副議長・佐竹教育民生常任委員長】
（文化館・黒潮本陣）
- 21日 高幡西部養護老人ホーム組合定例会【議長・議選組合委員】（文化館）

議員出張懇談会を始めます。

10人程度（これより多い場合も歓迎します）の団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、議員が町内どこへでも出張し、懇談会を開催いたします。
ご希望がある場合は、下記までお問い合わせください。

記

中土佐町議会事務局 TEL 52-2410 FAX 52-4810
E-mail gikaijimu@town.nakatosane.jp

「ありゃ 追跡 どうなっちゃうぜよ」

今号では、中城重則議員が平成28年3月定例会で質問した「町道矢井賀線」の問題を追跡しました。

【平成28年3月会議】

町道矢井賀線は、道路設計も終えたと聞いている。狭隘で老朽化が著しく、早期の改良が求められるが計画は。



県道25号から町道矢井賀線への入口付近



軽自動車とのすれ違いも困難な町道矢井賀線

下元建設課長 平成28年度は用地取得を計画している。同意が得られたら平成29年度から工事に着手する予定だ。

その後の対応 地権者にお会いするなど、工事を進めていく準備をしている。できるところから着手していく計画である。



佐竹あずささん

今年度の表紙の写真は、「中土佐の頑張る若者たち」を取り上げています。第4回目は、上ノ加江でカサブランカを栽培する佐竹あずささん28歳。大学を卒業後23歳で父明広さん、母豊子さんを師匠に就農。女性の20代での就農は中土佐町唯一の存在だ。昨年には自分のハウスも造り、自分名義での出荷も始めた。今は、大変だが、楽しくてたまらない様子。佐竹農園の営業は全てあずささん。東京、大阪と飛び回っている。「5年後には約50アールを経営し家族が増えていたらうれしい」と夢を語ってくれた。一緒に作業する両親のあずささんを見るまなざしに、娘への信頼と期待を見た。



表紙写真

つぶやき

「議員の役割は何だ」と思うことがある。町政では南海地震対策の避難整備はおおむね完了したが、避難所の運営等についてはこれからだ。新港事業も、過去に否決された7億を越す事業になるかも知れない。町民につけが回ることに心が重い。庁舎の移転も大ごとだ。

国の政策によって、国保、介護、年金の改悪大臣の暴言、TPP等強行採決、秘密保護法以来、国家権力が憲法を無視して暴走している。

格差と貧困の拡大に米国民は、トランプ氏を選んだ。ヒスパニックを締め出すといっている。これでは格差が無くなるだろうか。西欧では極右勢力が台頭している。先の大戦時、ヒットラーが叫んだ。ユダヤ人排除と同じように見える。

人、物、金、情報のグローバル化が生んだ格差や貧困はそう簡単には無くせないだろうと思う。

中土佐町議会議員 山中 英男

中土佐町議会広報常任委員会

- 委員長 下元 道夫
- 副委員長 山下世仁子
- 委員 黒原 昭一
- 委員 福永 守恭